【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成19年1月18日(2007.1.18)

【公開番号】特開2000-187501(P2000-187501A)
【公開日】平成12年7月4日(2000.7.4)
【出願番号】特願平11-332315
【国際特許分類】
　Ｇ０５Ｂ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
　Ｇ０５Ｂ　7/02　R

【手続補正書】
【提出日】平成18年11月24日(2006.11.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遠隔地点にある適正な入力装置に適正な順序及びタイミングで動作する様に指示する遠隔指示装置に於て、
複数個の遠隔入力装置を持つ遠隔制御パネルを持っていて、各々の遠隔入力装置が、遠隔作動することが出来ると共に何れも特定の遠隔入力装置を確認する様に作用する確認手段を持つ少なくとも１つの遠隔地点と、
前記確認手段に接続されていて、前記遠隔地点と情報をやり取りする様に伝送する遠隔リンクと、
前記遠隔リンクに接続されていて、特定された遠隔入力装置に対応する確認手段を作動する手段を持つベース地点と、を有し、
前記確認手段を作動する手段が、何れも遠隔入力装置に対応していて、対応する確認手段を作動するように作用する複数個のベース入力装置を有する、遠隔指示装置。
【請求項２】 更に、前記ベース地点に配置されていて、ベース・ユーザの音声を捕捉するベース・マイクと、該ベース・マイクに結合されていて、前記遠隔地点との間でやり取りする情報の伝送と同時に、音声通信を伝送する遠隔リンクと、該遠隔リンクに結合されていて、前記ベース地点からの音声通信を受信して、それを遠隔地点で再生する遠隔スピーカとを有する請求項１記載の遠隔指示装置。
【請求項３】 更に、前記遠隔地点に配置されていて、遠隔ユーザの音声を捕捉する遠隔マイクと、該遠隔マイクに結合されていて、前記遠隔地点との間でやり取りする情報の伝送と同時に、音声通信を伝送する遠隔リンクと、前記遠隔リンクに結合されていて、前記ベース地点からの音声通信を受信して、それを遠隔地点で再生するベース・スピーカとを有する請求項２記載の遠隔指示装置。
【請求項４】 更に、前記ベース地点にあって、遠隔入力装置の作動及びタイミングの順序を予め記憶しているベース記憶装置と、前記ベース地点にあって前記記憶装置に結合されるマイクロプロセッサとを有し、前記遠隔リンクは、遠隔入力装置の作動及びタイミングの予め記憶された順序を受取って、それを該遠隔リンクを介して遠隔地点に伝送する請求項１乃至３のいずれか１項に記載の遠隔指示装置。
【請求項５】 更に、前記遠隔地点にあって、アクチュエータの作動及びタイミングの順序を記憶することが出来る記憶装置と、前記遠隔地点にあって、遠隔リンク、記憶装置及び確認手段に結合されていて、該遠隔リンクから伝送されてきた予め記憶されていた順序

を受信し、それらを記憶装置に記憶し、後の時点で記憶されている順序を検索し、この順序を再生することによって、記憶されている順序に従って確認手段を作動する様に作用するマイクロプロセッサとを有する請求項４記載の遠隔指示装置。

【請求項６】 前記確認手段が、各々の遠隔入力装置に対応する複数個の灯で構成されていて、その各々が遠隔リンクを介して前記ベース地点に結合されると共に、該ベース地点から作動することが出来る請求項１乃至５のいずれか１項に記載の遠隔指示装置。

【請求項７】 前記確認手段が、遠隔リンクを介してベース地点に結合され、複数個の遠隔入力装置の画像を表示すると共に、作動すべき遠隔入力装置を強調するＣＲＴモニタで構成されている請求項１乃至５のいずれか１項に記載の遠隔指示装置。